

初めて「クリプトニーモ(ニーモニックガード)」をご利用頂く方に

本解説書は初めて「クリプトニーモ(ニーモニックガード)」をご利用頂く方向けに、「クリプトニーモ」に関する大まかな説明、及びご利用方法について解説してあります。

操作手順のポイントを簡単にまとめてありますので、ご一読後すぐにテスト運用出来るようになっておりますが、さらに詳しく「クリプトニーモ」についてお知り頂くためには、CD 内に格納されている PDF ファイル「**認証シンボル・画面作成ソフト説明書 V1.0-2**」、「**CRMN-MD 操作説明書 1022**」をご参照下さいますよう、お願い致します。

【重要】

本ソフトは試供品であり、配布ソフトのすべてで同一の暗号鍵を使っていますので**第三者に対する守秘性**はありません。また、サポートの対象外となります。

1. 「クリプトニーモ(ニーモニックガード)」とは？

「ニーモニックガード」とは、本人認証とは何かを原点に立ち返って考えた製品で、本人が一生忘れない思い出や好きな事・物や人物などを照合データ(パスシンボル)として登録・選択することにより本人認証を行うというものです。つまり、個々人のもつ記憶を活用することにより、本人を排除することなく他人を有効に排除することに成功し、本人のプライバシー保護の問題を解決する、画期的な製品です。

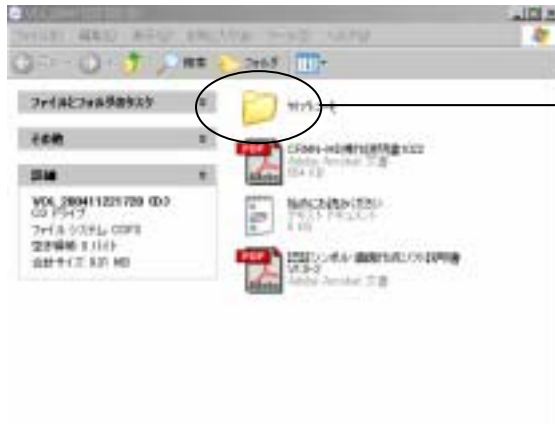


「クリプトニーモ」は「ニーモニックガード」によって本人認証と暗号鍵の動的生成を行うデータ暗号化ソフトウェアです。画面上の写真やイラスト等のシンボルをいくつかタッチするだけで確実な所有者の本人認証とデータ防御のための暗号鍵の生成・再生ができます。プログラム終了後には暗号鍵は消滅し、どこにも存在しません。

2. 操作手順

手順 :「クリプトニーモ」フォルダをコピーします。

Cドライブ上に専用フォルダを作った後、ドラッグアンドドロップで「クリプトニーモ」フォルダをコピーするか、もしくは、USB・スマートメディア・SD カード等のメディア内に同様の方法でコピーして下さい。



ドラッグアンドドロップで PC ハードディスク内、もしくは外付けメモリ内にコピーします。



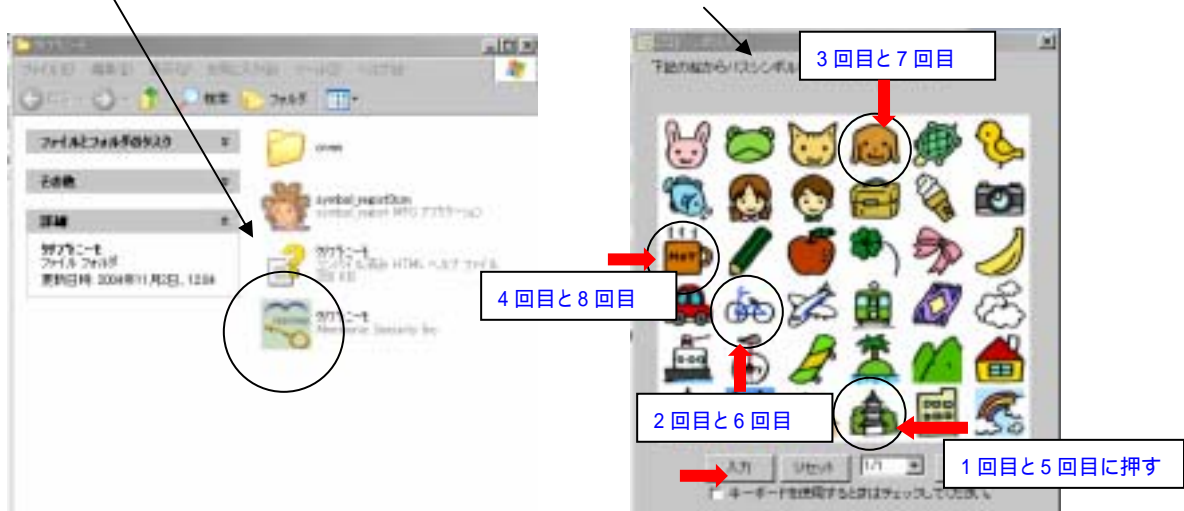
コピー後、クリプトニーモのフォルダを右クリックし、プロパティをクリックすると、下記のプロパティが表示されます。



読み取り専用のチェックをはずし、適用をクリック後、プロパティを閉じます。

手順 : 認証テスト

「クリプトニーモ」フォルダをクリックすると下記の画面が現れますので、
鍵の付いたクリプトニーモのアイコンをクリックして**認証画面**を表示させます。

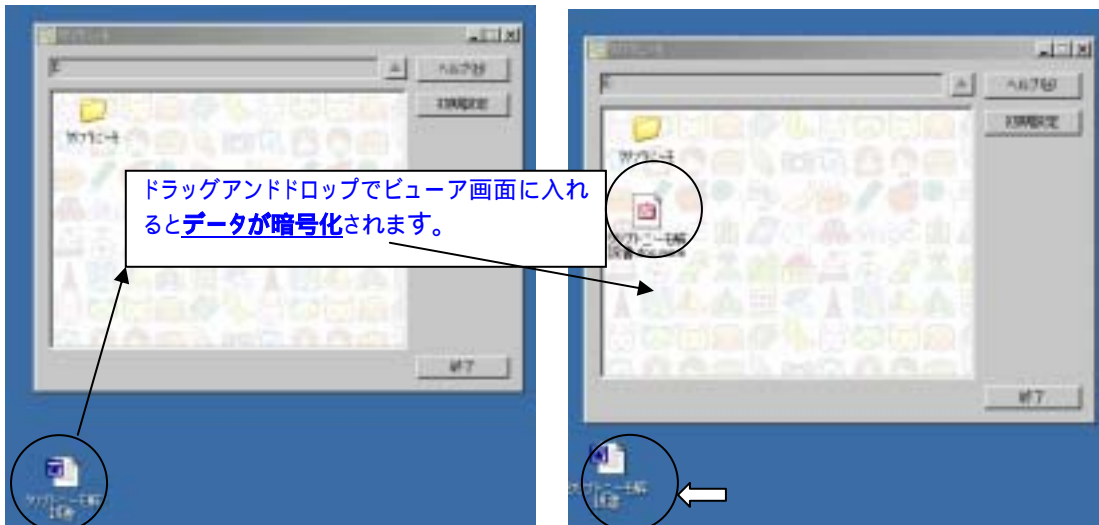


暫定パスワードが設定されています。「寺の多い京都」「自転車」「犬」「珈琲」「寺の多い京都」「自転車」「犬」「珈琲」と順番に押し、最後に入力をクリックすると**ビューア画面**が立ち上がります。この時、表示されるのはクリプトニーモのフォルダを格納してある場所です。つまり、クリプトニーモを外付けメディア等にコピーすると、そのメディア内を表示することになります。



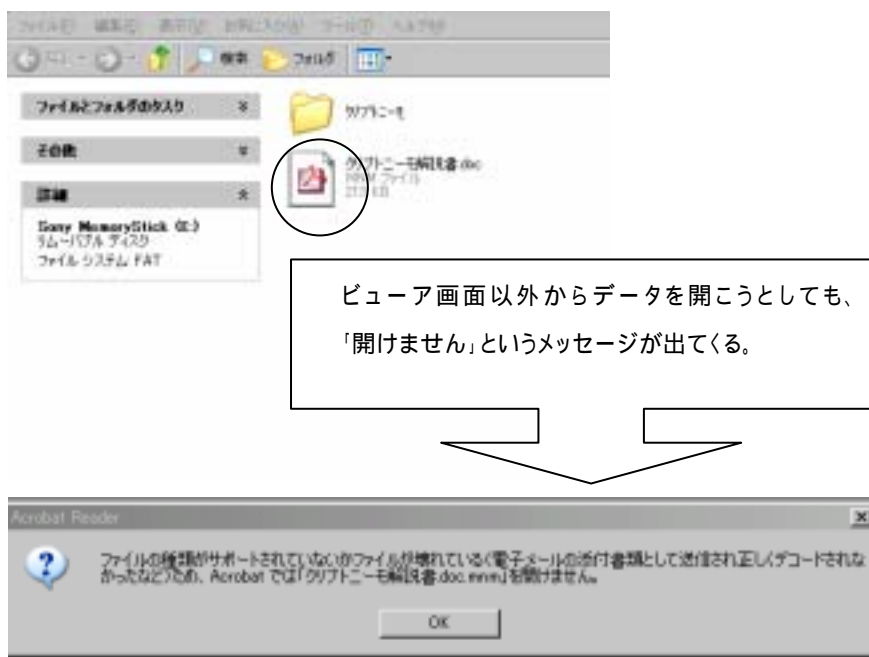
手順 : データを暗号化してみましょう。

デスクトップ上、もしくはメディア内にあるデータを暗号化したい場合には、該当データをドラッグアンドドロップでビューア画面にコピーします。



データの拡張子が変わり、mnm の拡張子が付いたことで暗号化が終了したことがわかります。ここではデスクトップ上で作成したデータを暗号化していますが、**デスクトップ上に残ったデータ**は暗号化されていないままですので、機密を保持したい場合には、**忘れず削除して下さい。**

正規のユーザは暗号化されたデータを閲覧するときに「クリプトニーモ」フォルダを開いて上記手順で行ったような認証を経てビューア画面を起動させ、そこからデータを開いていきますが、メディアを拾った・盗んだ人は、正しく認証を経ることが出来ないため、データを覗き見することはできません。認証を行わずに無理矢理データを開こうと試みても、次のようなコメントが出てファイルを開けません。

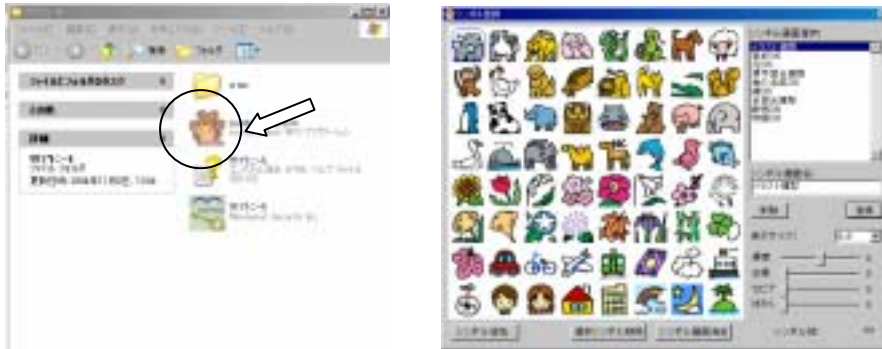


少し面倒な手続きですが、認証を経た人でないとデータを平文に戻せないということで、セキュリティが上がります。


手順 : 認証シンボル登録

暫定パスワードは本試供ソフト全てに共通で、**他人にアクセスされる危険性があり**、また、自分で作ったパスワードでないため**シンボル・順番を覚えなければならず**、不便だと思います。自分自身の思い出の画像も簡単に登録できますので、オリジナルパスワード作りにチャレンジしてみましよう。

- 1 symbol regist3cm のアイコンをクリックするとシンボル登録画面が現れます。



暫定パスワードは**物語 36** を使って設定されています。

- 2 いくつか雛形がありますので、そこから使いやすい物を選んで頂いても結構ですが、やはり自分の画像を登録した方が、**忘れないし、安全性が高い**というメリットがあります。但し、全ての画像を自前でとなると、どのように撮影したら良いのか等、とまどわれると思いますので、【全混合雛形】を参考に 2~3 枚画像をご用意頂き、認証画面構成上必要とされる枚数あわせの画像については、【全混合雛形】の中から気に入った使用して頂くと便利です。



ここには認証画面表示サイズ最大にあたる 64 枚のシンボルが登録されているため、このままの状態ではシンボル追加登録を行えません。まず、不要シンボルを削除します。



選択シンボル削除をクリックします。
 不要なシンボルをクリックします。
 「選択したシンボルを削除しますか？」に対して「はい」をクリックします。
 1シンボル分空きが出来ました。
 以下、この要領で不要シンボルを削除して、
 画像登録枠を確保します。



ここまでの作業を保存するため、シンボル画面名のところに、ご自分のデータとわかるように名前を付けて登録ボタンをクリックします。

お待たせしました。いよいよ画像登録です。



空いている画像登録枠をクリックして 指定した後、シンボル追加ボタンをクリックし、自分で登録したい画像を選びます。
 (PC内に画像を何枚か登録したパスワード画像用フォルダを設けておくと作業がやりやすいと思います。)



プレビューで画像の状態を確認し、OK なら登録をクリックしてシンボル追加を行った後、閉じるボタンをクリックします。
追加のシンボルが登録できました。
以下、この要領で画像をいくつか登録します。
次の項目で詳しく説明しますが、認証画面のシンボル数は 16・36・64 枚の 3 段階から選択可能です。この時、画像は一段目のものから自動的に編集されますので、シンボル数を 16 枚選択した場合には三段目以降の画像は選択されません。確実に自分の画像が編集されるように、追加画像を一段目に移動しておくことをお勧めします。



左の画像のように、一つのファイル内に複数の画像がある場合、必要部分を切り取った上で、大きさを調整して画像を登録することも出来ます。
左上のネコを追加したい場合には、シンボル追加時に画像部に表示される点線で囲まれた範囲を狭めたり、点線位置を動かしたりして、該当部分だけを選択します。

-3 画像登録が終了したところで、パスシンボル(オリジナルパスワード)登録を行います。

鍵の付いたクリプトニーモのアイコンをクリックして**認証画面**を表示させ、暫定パスワードを入力します。



ビューア画面が立ち上がったら、**初期設定**をクリックすると、初期登録画面が起動します。前述の手続きで登録したご自分の**シンボル画面名**を選択した後、表示個数等の設定条件を選びます。

初期登録

シンボル選択 ヘルプ

イラスト雑型
家紋36
花36
漢字混合雑型
魚の名前36
鍵36
全混合雑型
動物36
物語36
WATANABE

表示個数 6×6

表示位置 ランダム

認証時入力回数 1回

判定回数 2回

異常事態通報シンボル あり

認証選択順序 あり

チャイルドロック あり

総判定回数 5回

パスシンボル登録
戻る

認証画面に表示されるシンボルの数を意味します。4x4、6x6、8x8のいずれかを選択します。

起動するたびに表示位置が変わる【ランダム】、常に同位置に現れる【固定】のいずれかを選択します。

登録していないシンボルばかりを選んだり、選択個数が異なるなど、「本人なら犯すはずのない間違い入力を何度まで許容するか」を決める機能です。

本人といえども、押し間違いをする可能性はあります。万一認証シンボル入力を間違えた場合にも 何回かリトライ出来るように許容範囲を設けてあります。5回、10回、20回のいずれかを設定します。

条件設定が終わったら、パスシンボル登録をクリックして、シンボル選択の設定完了です。

チャイルドロックの賢い使い方については P10 をご参照下さい。

認証シンボルを押す(選択する)順番を指定するか否かを設定するボタンです。**【認証選択順序あり】**と指定すると、同じ画像を選んでいても順番通りに選択しないと正解とは認められないため、セキュリティが上がります。



例えば、WATANABE のシンボル画面名で、

表示個数: 6 x 6 = 36 枚

表示位置: ランダム、

認証選択順序: あり

総判定回数: 5 回

を選択し、**パスシンボル登録** ボタンをクリックして
みましょう。



先程登録しておいたシンボル画面名 WATANABE の 59 枚の画像の中から表示個数 6 x 6 の設定に従って一行目から 36 枚の画像が自動編集されています。

ご自分の思い出に基づいて、2 枚以上 8 枚以下で画像を組み合わせます。

必要枚数だけシンボルをクリックして選んだら、最後に**入力** ボタンをクリックし、確認のため再入力すれば作業完了です。

【'チャイルドロック'の賢い使い方について】

'チャイルドロック'は本来子供等のいたずらで他人判定機能が動作してしまった場合の対策として設けられたものですが、使用者本人の不注意で同様のことがおこった場合にも直ちに操作不能とはせず一度だけ救済措置につなげる安全弁の役割をはたしているため、知っておくと便利な機能です。なお、本機能は'**判定回数**'と密接に関連しておりますので、'**判定回数**'について再度ご説明するとともに'**総判定回数**'との違いについても言及致します。

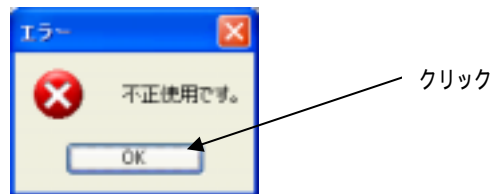
チャイルドロック(なし)を選択した場合

'**判定回数**'とは正解シンボルを1つも含まない選択か、間違ったシンボルを4個以上選択を行った場合、指定回数(2回~9回の任意の回数)以上の入力(やり直しを許さない、という上限回数の設定)です。チャイルドロック(なし)を選択すると、他人判定されたユーザは一切の救済措置がなく、二度とログオンできなくなります。

チャイルドロック(あり)を選択した場合

万が一不正使用と判定されても救済措置が与えられます。

'**不正使用です**'のコメントに OK すると認証画面が再び表示されますが、これは擬似認証画面(冗長ループ)で、すぐには入力出来ません。(パスシンボルをクリックしても画面左上には が表示されず、動作していない状態のままです。)入力可能状態にするには、**Shift キーを押しながらマウスの右ボタンを同時に押す 特殊キー操作**を行う必要があります。特殊キー操作のあと入力可能状態にもどりますので、落ち着いてご自身のパスシンボルを正しく入力して下さい。



注: '不正使用です'と表示されると、本人といえども少し慌ててしまうものです。そんなときは落ち着いて作業が出来るようにいったん全てを閉じて、まずは自分自身のパスシンボルを頭の中に思い描いてみることをお勧めします。特殊キー操作で救済措置を経ない限りは Mnem ファイルを立ち上げると擬似認証画面が表示されます。**Shift キーを押しながらマウスの右ボタンを同時に押す 特殊キー操作**を行った上で正しいパスシンボルを入力して下さい。

以上のようにチャイルドロック機能は万一の際の救済措置となりますので、登録に当たっては'**チャイルドロック(あり)**'を選択頂くことをお勧めします。

「判定回数」と「総判定回数」の違いについて

「判定回数」が本人なら犯すはずのない間違いを判定するための限度回数設定であるのに対して、手が滑った・勘違いで似たものをクリックしてしまったという間違いは本人といえども犯す可能性があります。本人が犯す可能性の高い間違い入力(本人推定エラー)と本人が犯す可能性の低い入力(他人推定エラー)の総計を何度まで許容するかを決めるのが**「総判定回数」**です。